

# 議会だより



入学式(小学校)

第71号

2011  
平成23年5月10日

## 3月定例会

### もくじ

・臨時会・定例会のあらまし	2～3
・平成23年度当初予算決定	4～5
・一般質問(5人)	6～10
・委員会報告	11
・町民の声「災害に備えよう」	12

発行/出雲崎町議会  
責任者/議長 中川正弘  
編集/議会報特別委員会

〒949-4392  
新潟県三島郡出雲崎町大字川西140番地  
TEL. 0258(78)3112 FAX. 0258(41)7322

# ◆ 1 月臨時会のあらまし ◆

(会期 1月12日 1日間)

## \* 臨時会で決まった補正予算 \*

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第10号)	1億 290万 3千円	35億5,228万 6千円

### 一般会計補正予算

#### おもな歳出

- ・ 備品購入 (マイクロバス29人乗り) ..... 842万 7千円
- ・ 町乳製品充填設備改修事業補助金 ..... 153万 7千円
- ・ 校舎棟トイレ改修工事 (中学校) ..... 4,481万 4千円
- ・ 中央公民館外壁・屋上改修工事 ..... 4,079万 3千円

臨時会は、議案1件が提出され、慎重審議の結果、原案のとおり可決しました。



提案説明

- |                     |       |        |         |           |           |               |           |          |         |         |                                       |                             |       |                     |       |       |         |                     |
|---------------------|-------|--------|---------|-----------|-----------|---------------|-----------|----------|---------|---------|---------------------------------------|-----------------------------|-------|---------------------|-------|-------|---------|---------------------|
| 18                  | 15    | 14     | 10      | 9         | 3         | 26            | 22        | 21       | 21      | 1       | 12                                    |                             |       |                     |       |       |         |                     |
| 議会報特別委員会 (議会だより71号) | 全員協議会 | 定例会最終日 | 議会運営委員会 | 総務文教常任委員会 | 社会産業常任委員会 | 定例会2日目 (一般質問) | 予算審査特別委員会 | 3月定例会召集日 | 議会運営委員会 | 議会運営委員会 | 新潟県後期高齢者医療広域連合議会全<br>員協議会、2月定例会 (新潟市) | 新潟県町村議会議長会第62回定期総会<br>(新潟市) | 全員協議会 | 議会報特別委員会 (議会だより70号) | 全員協議会 | 1月臨時会 | 議会運営委員会 | 議会報特別委員会 (議会だより70号) |

### 議会のついでに (主なもの)

(平成23年1月～3月)

# ◆ 3 月定例会のあらまし ◆

(会期 3月9日から 10日間)  
3月18日まで

## \* 3 月 月定例会で決まった補正予算 \*

会 計	補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第11号)	377万8千円	35億5,606万4千円
特別会計 簡易水道事業 (第3号)	90万円	1億3,291万3千円

(△印は減額)

会 計	補 正 額	補正後の予算額	
一 般 会 計 (第12号)	4,272万6千円	35億9,879万円	
特別会計	国民健康保険事業 (第3号)	485万1千円	5億4,905万8千円
	老人保健特別会計 (第1号)	62万4千円	142万4千円
	介護保険事業 (第3号)	△ 105万円	6億4,401万円
	簡易水道事業 (第4号)	△ 51万6千円	1億3,239万7千円
	特定地域生活 排水処理事業 (第1号)	△ 30万円	2,010万円
	農業集落排水事業 (第3号)	△ 85万6千円	1億7,360万円
	下水道事業 (第2号)	△ 581万円	2億4,220万円
	住宅用地造成事業 (第3号)	51万円	1,695万円

年度末を迎えて事業の完了などによる予算の整理を行ったもの。

定例会は、22年度補正予算並びに23年度一般会計・特別会計予算、条例制定・一部改正など議案31件が提出され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり可決しました。

## 可決した条例制定など

- ◆ 出雲崎町住民生活に光をそそぐ基金条例制定  
・ 困難を有する子どもへの支援のため制定するもの。
- ◆ 第5次出雲崎町総合計画(基本構想)の策定  
・ 将来の町のあり方を描き、その実現に向けて、計画的、体系的に取組む基本構想を策定するもの。
- ◆ 出雲崎町過疎地域自立促進計画の変更  
・ 計画書本文の追加及び事業の追加。
- ◆ 出雲崎町街なみ環境開発基金条例制定  
・ 海岸地区(尼瀬く井鼻)の街なみ整備のため必要のある土地をあらかじめ取得する基金。
- ◆ 出雲崎町保健福祉総合センターふれあいの里設置及び管理に関する条例の一部改正  
・ 浴室利用料を引き下げるもの。
- ◆ 出雲崎町すくすく子育て支援幼児等の医療費助成に関する条例の一部改正  
・ 乳児及び幼児等の医療費助成を子どもの医療費助成として一本化するもの。
- ◆ 出雲崎町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例の一部改正  
・ 出雲崎町重度心身障害者医療費助成に関する条例の一部改正
- ◆ 子どもの医療費助成に関する条例を引用しているための改正。
- ◆ 指定管理者の指定  
・ 北国街道妻入り会館の管理者の再指定。
- ◆ 町道の路線認定、廃止及び変更  
・ 拡幅等による町道の認定、廃止及び変更。

## 事件 人案

教育委員会委員の任命

佐藤 亨氏(大字尼瀬)

# 当初予算決定

## (対前年度比5.2% 2億5,750万円増)

街なみ環境整備及び背後地整備・簡易水道水源さく井工事実施など

一般会計の予算の合計は**34億4,200万円**  
(対前年度比6.7% 2億1,600万円増)

### ◇一般会計の主な事業

事業名	事業費	摘要
障害者福祉費	1億3,949万5千円	県重度心身障害者医療費助成 障害福祉サービス費など
保健福祉事業費	2,085万6千円	地域包括支援センターシステム保守委託料 高齢者筋力向上トレーニング事業等の委託料など
児童措置費	2億3,815万2千円	出雲崎・小木之城保育園保育実施委託料 延長保育事業補助金など
保健衛生予防費	1,764万7千円	結核間接撮影委託料 定期予防接種委託料 任意予防接種委託料など
じん 塵 芥 処理 費	5,669万2千円	一般ごみ収集運搬委託料 廃棄物処理事務委託料 指定袋等作成・配達管理委託料など
農業振興費	3,623万2千円	「汐風米」生産委託料 中山間地域等直接支払交付金 町滝谷・吉川地区農業機械施設整備事業補助金など
商工業振興費	1,593万9千円	町商工会運営費補助金 町商工業振興促進事業補助金 町中小企業信用保証料補給金など
道路新設改良費	1億6,837万2千円	乙茂藤巻神条線・尼瀬稲川線・立石3号線 小木相田線・豊橋線・仏長線・堆肥センター線など
住宅建設費	7,113万円	町営住宅建設工事費（石井町地内）など
常備消防費	9,604万9千円	消防事務委託料（柏崎市）
通学バス運行業務費	2,338万4千円	児童通学バスの運行業務委託料・車両燃料費 車両修繕料など
教育振興費	1,064万7千円	外国語指導助手派遣業務委託料・パソコン借上料 パソコン保守委託料など

# 平成23年度 総額52億4,930万円

若者誘導型町営住宅の建設・防災無線デジタル化への取組み・海岸地区

## 特別会計(8会計)の予算は**18億730万円** (対前年度比2.4% 4,150万円増)

### ◇特別会計の主な内容

#### 国民健康保険会計

**5億3,500万円 (0.8% 400万円増)**

- ・一般被保険者療養給付費 2億9,375万円
- ・後期高齢者支援金 5,792万5千円

#### 後期高齢者医療会計

**6,260万円 (3.2% 210万円減)**

- ・後期高齢者医療広域連合納付金 5,910万7千円

#### 介護保険事業会計

**6億3,700万円(7.4% 4,380万円増)**

- ・介護サービス給付費 5億6,263万円
- ・介護予防特定高齢者施策事業費 449万8千円

#### 簡易水道事業会計

**1億5,750万円 (22.6% 2,900万円増)**

- ・維持管理費 4,392万5千円
- ・取水施設整備費 4,365万円
- ・公債費 2,926万6千円



予算採決(全員賛成)

#### 特定地域生活排水処理事業会計

**2,100万円 (2.9% 60万円増)**

- ・浄化槽維持管理費 830万3千円
- ・公債費 1,210万6千円

#### 農業集落排水事業会計

**1億7,280万円 (0.2% 30万円増)**

- ・維持管理費 4,032万5千円
- ・公債費 1億2,403万9千円

#### 住宅用地造成事業会計

**440万円 (34.3% 230万円減)**

- ・住宅団地管理費 122万円
- ・住宅団地事業費 287万2千円

#### 下水道事業会計

**2億1,700万円 (12.5% 3,100万円減)**

- ・維持管理費 4,742万4千円
- ・公債費 1億4,714万1千円

# 施政方針について



山崎 信義 議員

交流の窓口について所見を伺います。

**【答弁】** 姉妹都市における姉妹校として、風土が異なる地域の学校同士の交流は何か得るものが必ずあるということは同感です。少年野球とか卓球の交流あるいは日帰り遠足、部活動、修学旅行、家族旅行、海水浴、宿泊へと発展してもらえば素晴らしいことだと思います。

柳津町では姉妹都市担当部署がありますので、事務段階でどのような交流が具体的にできるのかどうか、総務課長に指示してあり、具体的に行動してほしいと思っております。

行財政のスリム化についての所見を伺います。

**【答弁】** 平成17年度から単年度約1億円の経営経費の削減を目指し努力はしてきたつもりです。高齢化が進んでおり、経費の伸びる可能性もあり、一層意を用いていかなければならないと考えています。

**【質問】** 姉妹都市の福島県柳津町とは、野球や卓球、教育委員会・消防団・議会及び「まつり」など幅広く交流会が行われました。

「宿泊体験学習」の導入に向け、修学旅行用1泊2日・2泊3日の「誘客学習メニューづくり」を進めるためのプロジェクトの立ちあげと

ばならないと考えておりません。

**【質問】** 歳入を増やすためには、当町の持っている資源を有効活用することが不可欠です。町長の見解を伺います。

**【答弁】** 歴史、文化、持てる財産を生かして、どう町の活力につなげるかということは、今回の予算の中にも十分盛り込んであると思います。一言にして語れませんが、全体を通して中で最善の努力をしていきます。

**【質問】** 限られた財源の中で、町民ニーズに的確に応え、行政効果が最大限図られるよう努めると述べられました。

**【質問】** 平成23年度で終了する「県中越地区廃棄物処理施設周辺環境整備事業」の交付金約1億円と国勢調査における人口減少による約1億円の歳入減が見込まれ、町の財政事情は楽観できる状況でないと思われましたが、この歳入減の問題にどのような対策をお考えですか。

**【答弁】** 県の交付金を補う歳入の確保は難しいことでありますが、22年度から過疎債のソフト面の起債が可能となり、23年度2つのイベント事業の安定財源として新たな起債も見込んでおります。大災害の発生など変化の多い中、細心にして安全を図りながら、今後の財政運営に努めなければ

# おたずねします お答えします



施政方針



# 子ども医療費助成の拡充について



仙海直樹 議員

**質問** 高校生のお子さんを持つご家庭にとっては、町外への交通費や、駅までの交通費等がかかり、中学生の時よりも高校生の方が出費がかかる現状があります。

現在、町が行っている中学校卒業までの子ども医療費助成制度を、高校卒業の年齢までに拡大できないものでしょうか。

また、今年10月に完成予定の若者向け町営住宅の完成に合わせて、全国的にも珍しく、県内でも初めてとなるこの医療費助成制度の拡充は、定住促進の面からしても効果があると考えますが、町長の考えを伺います。

**答弁** 当町の子ども医療費助成制度は中学校卒業までとなっており県内でもトップレベルです。

助成を拡充すれば、今後恒久的な財源が必要となるうえ、高校生は国の授業料無償化や町の奨学金貸与制度もあり、これらをふまえたうえで総合的に考えて検討したいと思えます。

**質問** 町の第5次総合計画で、中学生へのアンケート結果にもあるように、子どもたちが望んでいる将来の町のイメージは医療の充実した町です。

また、子ども医療費助成の拡充は、人口の多い都市部より子どもの人数の少ない町村

部で、対象年齢を引き上げる傾向があります。

子育て世代の負担軽減を図り、社会全体で子どもたちを支えていく面からしても必要と考えますが如何でしょうか。

**答弁** 医療の充実した町については、町内の医院や町外の基幹病院との連携を更に図り、今後についても医療費助成のみならず、出雲崎に定住したら、このような良い面があるなどをPRして、若者誘導型町営住宅の建設を初めとした定住促進を進めていきます。



次世代を担う子どもたち

# 観光立町の今後について



田中 元 議員

## イベントの情報発信について

**【質問】** 施政方針演説で5つの重点項目をあげられました。その中のイベント開催による全国への情報発信について伺います。

8月に実施される汐風ドリー夢カーニバルを中心に数々のイベントがあります。それぞれに、成果があります。わいがあります。活性化が取りもどせたといえるでしょうか。

**【答弁】** 中越沖地震の復旧復興元年として、平成20年度から各種事業を展開、イベントを中心事業として取り組み、期待以上の成果をおさめ、観光客数は平成18年度並みに回復し、着実に前進しています。

このイベントは、町内外の皆さんに呼びかけ、商工業者と一体感を持ち、元気な出雲崎町を売り込むのが主眼であります。

商工会も構成員になっていきますので、商工業者の方々が検証して、メリット・デメリットを考えるべきであり、行政としてアンケートを取る考えはありません。

## 海岸地区街なみ環境整備は

**【質問】** 街なみ環境開発基金とがんばる街なみ支援の新設は大変結構な施策であり、遅すぎたと思われるくらいです。

開発基金により、先行取得した物件を保有した時、他の宅地との交換により、宅地を集め、新年度に施行される石井町の住宅のような造成や、宅地の分譲につなげていく施策を考えていく気持があるのかお聞きします。

**【答弁】** 基金の性格から考えますと、将来行政目的のために必要となる土地を、一時的に先行取得をすることを可能にするのが基金の持てる内容で

あります。

土地所有者から取得希望者への売買、交換はできないと考えます。

基金利用の有無にかかわらず、結果として町が取得した

土地を交換により街なみ活性化のために有効であれば、柔軟な対応も必要です。条例に従い運用に妙を得ながら対応するのも理想的なケースと考えます。



イベントの経済的効果は

# 全町民の健康増進の推進について



三輪 正 議員

**【質問】** 町は国民健康保険加入者の健康増進について積極的に取り組んでいます。病気になる人が増えれば医療費も増え、平成21年度は4億2千380万円、一人当たり年間31万円となっています。

財政面から医療費を抑えることは重要ですが、国保加入者約1千400人、他の保険加入者は約3千600人と、他の保険加入者が全町民の3分の2を占めています。

全町民の健康増進を考えるならば、国保加入者だけでなく、他の保険加入者へも配慮すべきであり、例えば「全町民が年一回の健康診断受診」の実施のため、町が全町民の受診のチェックをするなどの方法を考えるべきだと思います。

が当局の考えを伺います。

**【答弁】** 当町では平成18年度に「健康いずもぎき21」を策定して、町民の生涯にわたる健康づくりを推進しており、全町民が生涯健康で暮らせるよう進めております。

**【質問】** 全町民の年一回の健康診断実施率向上のため、国保以外の職場の受診状況を町で確認し、早期発見・治療のため、健康増進の向上に努めるべきと考えますが如何ですか。

**【答弁】** 健康づくりは行政だけで進めるものでなく、地域・職場や学校・医療・保険者等との連携をしながら進めていかねばならないと考えており、今後対応をして参りたいと思います。



いつまでも健康で（八手地区文化レクリエーション大会）

## 役場職員の地域活動への積極的参加について

**【質問】** 地域の伝統行事、イベント等、地域の活性化のため努力されていますが、高齢化、若者の減少などにより活動が困難となっている地域が多くなっています。

この状況の中で役場職員が積極的に地域活動に参加することは、パワーとノウハウが生かされ、その効果は大変大きいと思います。

これは強制するものではないので、町は職員の参加意識向上と参加しやすい環境をつくる必要があると思います。町長の考えを伺います。

**【答弁】** 町職員は現在、消防団活動を始め地域活動に積極的に参加していると思っております。

地域の一員として、要望がありましたことについては、職員に伝え、地域活性化につながるよう努力して参りたいと思います。

**【質問】** 小中学生の地域活動参加の促進について教育長の考えを伺います。

**【答弁】**（教育長） 子どもたちは地域で学び、地域で育つとよくいわれております。近年、外での活動が少ない傾向にあり、子どもたちの地域活動への参加は意義があり、大変重要なことと認識しております。

現在は行事（出雲崎大祭、船まつり）や消防演習等での演奏、町の各種スポーツ大会など、計画的、限定的参加です。自主的に参加する気が大事ですが学校行事等の関係で難しい面もあります。

参加の良さを要約すれば地域の力を得て子どもの健全育成につながり、また地域を思い、愛する子どもの育成の2点であり、ひいては町の活性化につながります。

これから機会あるごとに学校、保護者にもその重要性を語りかけていきたいと考えております。

# 第5次出雲崎町総合計画について



中野 勝 正 議員

**質問** 平成23年度から32年度までの10年間に於ける、町の将来像について昨年2月に、町長から審議会に諮問がありました。今年2月に答申いたしました。

町長は答申を尊重しながら5つの基本方針に基づき、各種施策を積極果敢に推進、実行すると述べられ、23年度は予算に組み込まれています。

前期5年の中で5つの政策についてどのように考えておられるか町長の考えを伺います。

①健康で安心して暮らせる

福祉のまちづくりについて

**答弁** 福祉、保健の分野においては、大変幅広く奥深いものがあるので、健康第一と考

え、きめ細やかな政策を進めていきます。

**質問** ②安全で快適な美しい環境のまちづくりの中で、前期5年の基礎集落の再編について、どのように考えますか。

**答弁** この小さな町からいたしますと、行政区としては、非常に多いと感じてますが、再編は中々難しいと思えます。現状ですすめるべきと考えており、町の活力再生にマナスとは考えておりません。

**質問** ③活気・活力に満ちた産業のまちづくりについて

地域ビジネスの展開、新産業についてもどのように考えていますか。

ますか。

**答弁** 町の産業に二石を投げたいという人に対しては、行政は指導も含め積極的に応援をしていきます。

**質問** ④夢・感性あふれる教育と歴史文化香るまちづくりについては。

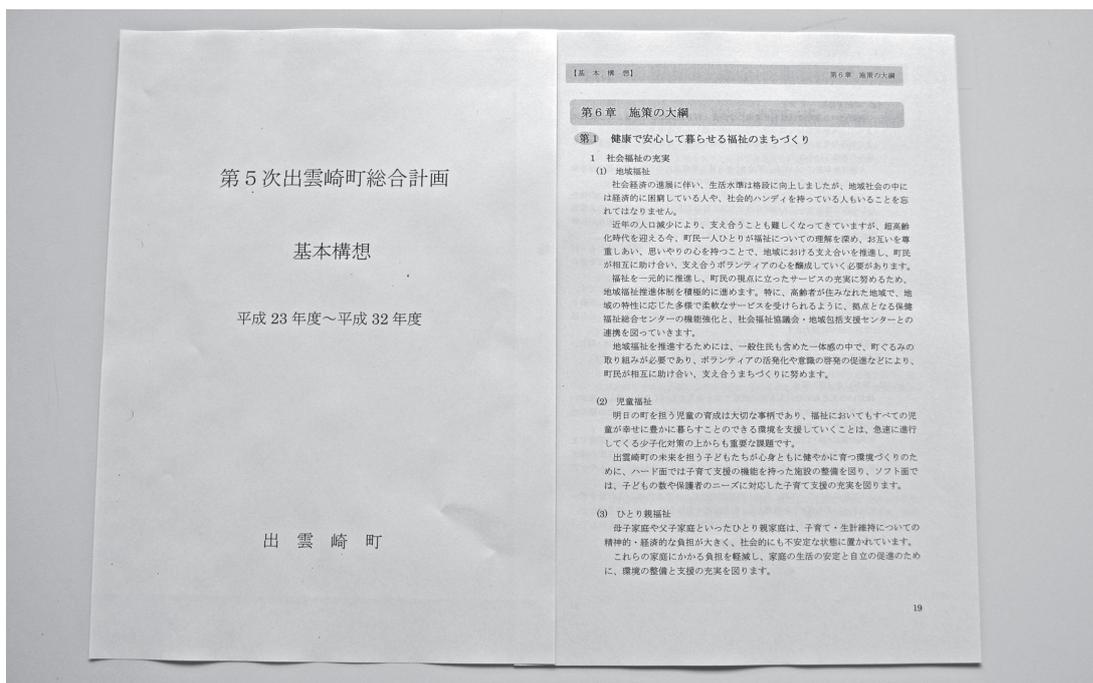
**答弁** 海岸地区における新しい生業を提供する方々に対しては積極的な助成をしていきます。

また、宝物探しを初め子どもたちの健康増進や、教育環境についても全力を挙げて取り組んでいきます。

**質問** ⑤町民と協働で築くまちづくりについては。

**答弁** 行政は議会や町民の皆

さんと一体感を持ちながら、自助・共助・協働という精神をしっかりと構築しながら、全力を挙げて取り組んでいきます。



第5次出雲崎町総合計画

# 常任委員会報告

## 総務文教常任委員会

第5次出雲崎町総合計画（基本構想）の策定についてを中心に審議しました。

第5次出雲崎町総合計画（基本構想）の策定については、平成13年に策定した第4次計画が平成22年度をもって、その計画が終了となりま

す。この度の第5次計画については、平成23年から32年度までの、10か年を計画期間とする本町の総合計画（基本構想）を定めるもので、地方自治法に基づき議会の議決を求めたものです。

また、出雲崎町過疎地域自立促進計画は、改正過疎法により、平成22年度から6年間の計画がスタートしておりますが、これとは別のものです。

40年前（昭和46年）に第1次計画が策定され、第5次

計画については、昨年10月

に町から町総合計画審議会に策定の諮問がなされ、本年2月に審議会から答申されました。

審議会は8回の会合で、町が取りくむべき施策の方向性など、アンケートの結果をもとに、審議されました。町づくりの基本理念「恵まれた自然と歴史のなかで、安全・安心に暮らせるまちづくり」の実現に向けて、5つの基本方針を掲げ、今後10年の計画的な基本指針が示されています。

### 計画の概要は

- ① 趣旨
- ② 計画の経過
- ③ まちづくりの基本理念
- ④ 基本方針
- ⑤ まちづくりの指標
- ⑥ 方針を進めるための施策の大綱

などを基本構想としていきます。

総務文教常任委員会で審議し、いろいろな意見・質問がありました。

代表的なものとして、総合計画はまちづくりの基本構想と理念を決めるものであり、合理化を進めすぎると、町民が萎縮する面があるので、気配りをしてほしい。

今年の予算では、基金を2億5千万円取りくずしている。今後、町の収入を考えるとエコパークの関連で1億円減り、国の交付金が減額される可能性があります。

従って、現在、財政調整基金が豊富にあっても、先行き不透明な部分が多く、不用、不急のものはやめ、予算の執行に配慮するようになどの意見がありました。

採決の結果、全員一致で原案のとおり可決すべきものと決しました。

（小林 泰三）



恵まれた自然と歴史のまちづくり

# 町民の声

## 災害に備えよう

小木 安達一雄



津波避難訓練（大字木折町 平成20年9月28日訓練風景）

3月11日に発生した大震災について思いのまま書いてみました。

もしこの巨大津波が日本海の出雲崎の海岸で起こったら海岸沿いは全滅です。

避難するにも逃げる場所がない状態です。年寄りが多い当町ではどうしたら最小限にこの被害を防止することが出来るのでしょうか。とても心配です。

そして福島第一原発の事故のように、柏崎刈羽原発から出雲崎町は20kmの圏内に入っています。放射能汚染の被害が出れば、生活に深刻さを増すことになり、他県に避難する状況となります。

議会で防災無線の件で質問されておりましたが、今だからこそ、避難訓練と防災無線は大切であり、真剣に取り組んで頂きたいと思えます。

私も過去3回の巨大地震を経験しておりますが、そのつど多くの人達からのご支援を頂き助けていただきました。

今は自分の出来る限りの協力をして被災された皆様が出来すことを心から応援しています。



### 表紙の小話

4月7日、小学校の入学式が行なわれ、35名の可愛い子どもたちの中に、2名の福島県から避難されてきた子どもさんも含まれていました。

遠い地での学校生活、周りの人達の暖かい思いやりの気持ちを期待しています。

名前を呼ばれて大きな声ではっきり返事をする子、小さな声で恥かしそうに返事をする子、それぞれ一生懸命に行動していました。

子どもたちの成長には目を見張るものがあります。6年後には見違えるほど逞しく育っているでしょう。

子どもたちには、地域を想う心を持ち、家族をおもいやる、そんな大人に育ってほしいと願っています。

(三輪 正)

### あとがき

3月11日に発生した東日本大震災は、地震被害や津波により、阪神大震災をはるかに上回る、観測史上最大級の被害をもたらしました。

更にまた、未だ続く原発事故は、放射線被害や電力不足、あるいは将来にわたる不安など尽きることない多角的な大問題を私たちに提起し続けています。

被災地の一刻も早い復興を心から願ひ、私もまた、微力ながら、その支援の一翼を担えればと思っています。

今回の大震災を教訓とし、当町においても今後、町民の皆さんと共に知恵を出し合い、あらゆる角度から徹底した防災の見直しをしていく必要があるものと考えます。

議会報も4名の議員で編集に当たってききましたが、71号の発行をもって最後となります。「町民の声」をはじめ、多くの皆様よりご提言とご協力を頂きましたことに感謝いたします。

次回72号からは新メンバーで担当することとなりますが、今後とも、皆様の変わらぬご指導とご協力をお願いいたします。(三輪 正)

議会だよりの発行予定  
発行は年4回、発行月は5月・8月・11月・2月です。